

彼女

アフタヌーン四季賞 2013 年冬のコンテスト 四季大賞受賞作



君寝すぎ



「ページ数を感じさせない構成のうまさ、
好感の持てるキャラクター、
この作品に出会えたことに感謝します」

審査員 藤島康介 氏（もの書き）

アフタヌーン四季賞2013年冬のコンテスト

四季大賞受賞作

彼女

木下美菜子

「大切な人と一緒にいたい。それが、拒み続けることと引き換えで」

大切な人と一緒にいたい。それが、拒み続けることと引き換えで



そうか
僕は
大学生だった





あっ!!



東京の大手に
定かり
上京した僕は
彼女と再会した



僕は
大学の頃のまよ
とわかっていなかった



僕は
彼女と再会した



僕は
彼女と再会した



はい、
おはよう



彼女は
再会した



僕は
彼女と再会した





それから
ははちきり夏は
暖の光に満ちた。

後と夏風の気候は
定例のようで
定通のような
商人のような

その時、
境には心地よくて……

をにより
すぐそばに
置かれていくれる
それだけで幸せだった



ドク

郁也——!!



ぶあう!!





11



お断りです





夏穂

僕を
救ってくれ





僕は今、古い海の
真ん中にいるんだ

そしてその海の中には
僕の記憶が
たくさん入ってる

どんな記憶……

わからない
だから記憶と海のために
海に溺ろうとするんだけど

その海は暗くて息苦しくて
またすぐ元の状態に
戻ってしまおう

つぎ……



そうか

さう……なのかな……+

準備は整ったか

さうだよ

別に……悪戯の
気遣がなくたって
死ぬわけじゃない

夏樹がいる

まだじゃないか

もう大丈夫

うん、さあ

なめに
こんなに楽々買ってきて
カマクラーマンの家は
楽々？

まず、あれや
いつの間にか

夏は本当に
面白いね

夏樹だけじゃ
こ難は作れません

おつかい
行ってます

「誰か来るぞ
さうべからず」よ

最近会ってないな
二人とも
元気にしてた！

喧嘩わらずだよ
ナカちゃんもスキャンダル
楽しいし、始末もナカちゃんに
任せておこう

でも
いい子達だよ

人付き合いが苦手な
人間不信の弟と一緒で
いじめっ子なんです
それくらいだよ

ひといす

だから大喧嘩に
しなくてもや
めだよ



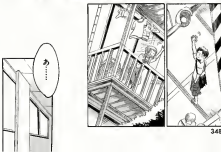
喧嘩君と親友君もちゃんも
心配してるとやない？

君はもよつと強けた
ところがあるから
一人にするのが心配だよ

喧嘩君と
親友君もちゃんがいれば
安心だよ

今日 大学
途中で抜け出した
んだよ

君の無断欠席
無断欠席は悪い癖だよ



彼女

アフタヌーン四季賞 2013年
そのコンテスト 四季大賞受賞作

作者紹介



木下美穂子

木下美穂子は、大阪府出身の漫画家。代表作は『彼女』。



一体
なんなんだ
……う

ゴホ

キーン

ゆーや!!

おい!!

おいってば!!



ゴトノゴトノ



僕は一体
何を忘れてるん
だろう……



それにナルちゃんか
言っていた
「みんなさ」って……





今は
健康維持期間
なんだ



考えるのは
やめよう



オレやっぱり
健康のいい世界で
生きていく事は
できない……

先生……健康が
異人なんです

おいっ
やめろ!!



やめろ……



なんだか
悲しい映画だね



そっすー



でも彼と彼女は
今も一緒よ



彼と彼女が出会い
愛し合った時間があつたなら
それは今も存在しているわ

彼が死んだ(今)
彼女とは会っていないの

笑面屋
の不思議な事

夏雄はたまに
不思議な事を
言うっ

彼女

知ること、そして
理解すること――



よく
わからないよ



タイムトラベル
つてわかる！

タイムマシンに乗って
過去とか未来に行く
ヤツ！ マンガとか
映画の図でしょ



例えば「命」を生きた男が
タイムトラベルして「過去」に
行ったならそこに
もう一人の男がいる

君にとってはそこが「過去」でも
そこにいるもう一人の男に
とってはそこが「今」なの

なんだか難しい話だね



つまりは過去・現在・未来
無関係の男が今この瞬間を
生きているって事

過去も現在も未来も
共に流れているのよ



彼女

アフタヌーン四季賞 2013年
冬のコンテスト 四季大賞受賞作



彼女

知ること、そして
理解すること――



ここにいたら
ダメだ……
早く帰らないと



11





夏雄さんは
死んだんですよ

ナツホサンハ シンダンデスヨ

彼女

アフタヌーン四季賞 2013年
冬のコンテスト 四季大賞受賞作



35



あれ、雷だ
やがてですわ

あれ、めん
きつて雷入
るぞった

え！

もう雷は
同じ場所を叩い
くぞに、なんでも
すぐ雷のちやうどん
たやわ

ごめん
ごめん

ごめん、ごめん

あ、うん
雷が、うん、うん





有明夏穂は
死んだんだ



不幸な事故で
死んだんだ

踏み切りに
突っ込んできた
車にはねられて

宙を舞い

地面に
たたきつけ
られて

彼女は
死んだんだ





どうして
気が付かなかったん
だらう

さう内前が横
この部屋で
目を覚ましたと思
う

彼女が横に顔を
置いている事

彼女の手が
おそろしく冷たい
事



どうしたの？
なんか寒だよ



「なんでもない」と
言えればよかったの
かもしれぬ

そうすれば
今までのおりの
生活が戻ってくる

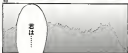
でも僕は



夏雄
君は死んだ

死んだんだよ

そこで君は
泣いたのか





本当に死んで
しまったんだね



やっぱり泣いてくれたね

ふ……？

私が死んだとき
君泣かなかった
んだよ

ずっと泣いて
くれなかった

お葬式にも
来てくれなか
ったし

私って世の中で
そんなもっぱげな存在
だったんだあって
悔しくなっちゃった

遠く

遠うんだ

重機が死んだなんて
平んなのはウソで
これは悪夢なんだと

僕は逃げたんだ
泥のように
眠り続け……

君の死を
海底に沈めた

だから壁際に立って
横みぎのひたすらでも
言ってやみうと
思ったの

そしたらさあ

私以上に君のほうが
死んだ願してるん
だもの

私がびっくり
しちゃうんだよ

はは……

そんな理由で
死んだら嫌まで
僕の所に来たの？

君は本当に
変わってるね

あら
そんな理由とは
失礼ね

私にとっては
至天すげえ理由よ

このまま……

ずっと一緒に
いられたん
だね……

!?



いつもいつも涙を
流ってばかりです……

謝らなくてもや
いけないのは
僕のほうだよ……

あふあ 彼女が打ってしまっ



ごめんなさい

いつも早く本日の事を
終わらなきゃいけないって
わかってたの

でも君との時間が
あっかしくて……
楽しかったの……

そのひんがら
こはれがちなように……

何か何か
言わなかった？……

君がみんなのために
働いて……

ごめんなさい……

ありがとう……

僕はけつきよく
君に抱かれ……

行かないで？

何か……何か……



死は誰にでも
来るものなんだから
悲しいかなだけよ

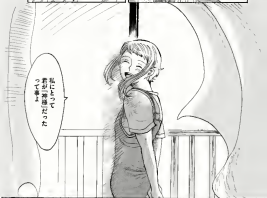
早く
私が死んだのは
君のせいじゃないよ

あ……

……そう
思ってるのは
君だけかもよ

彼女

知ること、そして
理解すること――









僕は大声で泣き続けた



喰ひ顔、汚成庫の故めに入て
ます。ちゃんと喰べてや！

喰べる、てことは
生きることなんだから。

彼女の死を
受け入れるために

彼女が
存在していた事を
証明するために







バイト始めた
からね



昔っから俺がいつも
買ってた曲って
「メーカが凄く良い」
だの何ってても使ひ
ないだの言ってた
のにさ

ははッ



それに……

人とのつながりを
感じちゃいけない
って思ってたんだ



？
なんだそりゃ

それより俺は
メーカとして
死ぬてえ

いらいち退すの
無理な人
だからさ

俺の
「重文」

ありがた
き歌



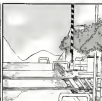
まあ死は
さびしい

俺も死な
ないで
心臓なんだよ

重文ちゃんみたいになんか
できないからしねえけど

本当つらいときは
黙っててくれよ
重文なんだから

うん……ありがたう







A black and white illustration of a woman with long, wavy hair hugging a man from behind. The man is smiling and looking towards the viewer. The woman is also smiling. They are both wearing dark clothing. The background is light and textured.

頬をつたうのは、あふれだした心

——小学生のあの日は違う涙——

「今」
僕と夏穂は
出会ったんだ



彼女

木下重樹と氏の代表作に二冊ゆかり深い。

経